アイゼット照明器具

ＨＩＤダウンライト（一般屋内用）

取扱説明書

保管用

品　番	埋込穴径(mm)	器具重量	適合ランプ（指定）
SDR-TP/175	φ175	0.7kg	ＣＤＭ－ＴＰ　７０Ｗ ＣＤＭ－ＴＰ／Ｆ　７０Ｗ ＣＤＭ－ＴＰ　１５０Ｗ ＣＤＭ－ＴＰ／Ｆ　１５０Ｗ
SDR-TP/200	φ200	0.8kg	
SDR-TP/250	φ250	1kg	
SDR-TP/300	φ300	1.3kg	

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

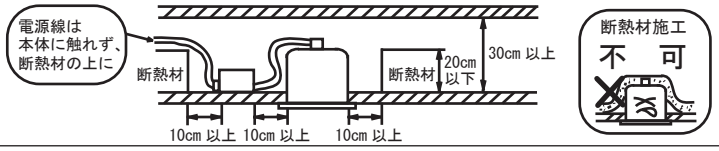
施　工　説　明

工事店様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

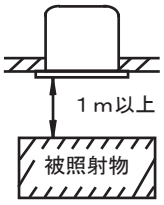
⚠ 危険

●断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しないでください。
火災の原因になります。
断熱材・防音材を使用する場合、右図のように
器具・造営材から離して施工してください。



⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。
●照明器具としての目的以外では使用しないでください。
●天井埋込専用器具です。壁取付けや天井直付け及び傾斜天井への取付けはしないでください。
●著しく天井に反りがある場合、天井への取付けはしないでください。火災・落下の原因となります。
●被照射面との距離は、１m以上離してください。
被照射物の火災・変色の原因となります。
●器具の改造及び構成部品（ソケットなど）の交換をしないでください。　火災・感電・落下の原因となります。
●器具と安定器（電子式および銅鉄式）の間には、中継（中間）コネクタ・ジョイント・コンセント等の接続器は使用しないでください。
火災・感電・漏電の原因となります。
●電子式安定器への配線延長、および銅鉄式安定器への接続は６００Vビニル絶縁電線と同等以上の
絶縁性能を有する電線をご使用ください。
●配線延長および銅鉄式安定器への接続は、リングスリーブ、圧着端子を使用し、配線接続後の接続箇所（絶縁被覆付端子含む）は、
必ずビニル絶縁テープにて１０回巻以上の絶縁処理を確実に行ってください。火災・感電・漏電の原因となります。
●安定器に表示された電源電圧（定格電圧±６%）周波数５０／６０Ｈｚ以外の電源で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
●布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。
●本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用してください。
指定以外のランプを使用すると、火災の原因になります。
●器具の取付部以外の本体外郭が天井内の造営材やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。火災の原因となります。

⚠ 注意

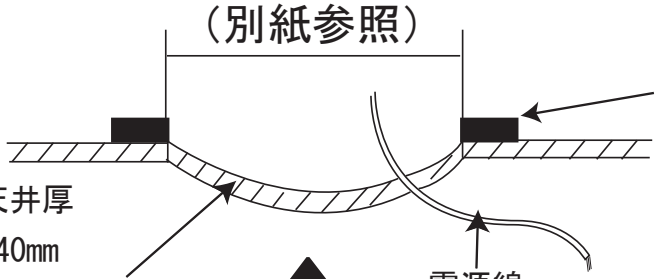
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

●直射日光の当たる場所、温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）の近く、湿気の多い場所、
振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
火災・感電・落下・ランプ短寿命・サビの原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃以外では使用しないでください。
火災または短寿命の原因となります。
●ライトコントロールを併用しての使用はしないでください。火災の原因となります。
●点灯中及び点灯後のランプ及びその周辺をさわらないでください。
ランプ及びその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。
●取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取り付けてください。サビや変色の原因となります。
●器具に無理な力を加えないでください。落下の原因となります。
●漏電ブレーカの感度電流を設定する際には、以下のことにご注意ください。漏電ブレーカの誤作動の原因となります。
１）ランプ点灯時よりも無負荷時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
２）単相3線200Vで片切りスイッチを使用する場合は、ランプ点灯時よりも消灯時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
注）無負荷時の漏洩電流の測定は、点灯時の漏洩電流測定後に下記の方法で行ってください。
消灯後、（ランプ装着時状態で）約５秒後にスイッチを入れ、点灯（放電）開始までの間に測定する。
●照明器具には寿命があります。外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
１年に１回は、社団法人日本器具工業会作成の「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

各部のなまえ

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。	

適合埋込穴径
（別紙参照）

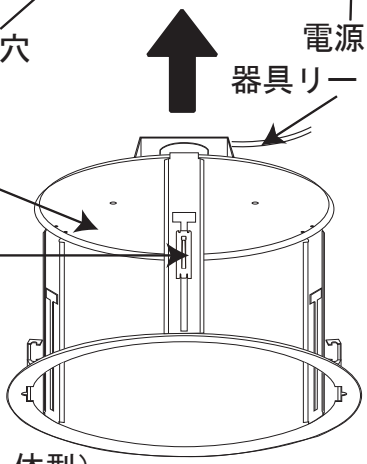


補強材
ロックウール等の柔らかい天井及び取付天井厚が薄い天井に取付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板･木材）を入れて下さい。
補強材のない場合、落下の原因となります。

取付天井厚
10～40㎜

埋込穴

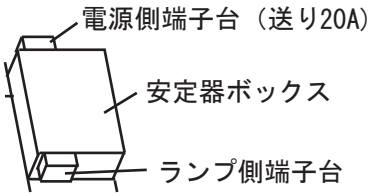
電源線
器具リード線



本体

取付金具

■電子式安定器

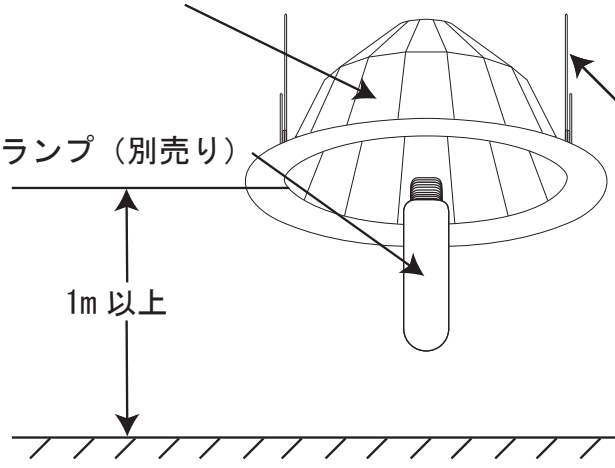


⚠ 警告	安定器の接続は安定器添付の取扱説明書を必ずお読みいただき行ってください。安定器とランプ（ソケット）との間の配線の長さは下記基準をお守りください。 ※２m以内 この長さを超えますと、特性（雑音･漏れ電流）が変化したり、出力の減少、パルスの減衰でランプが始動しないことがあります。

反射板（リング一体型）

ランプ（別売り）

Vバネ

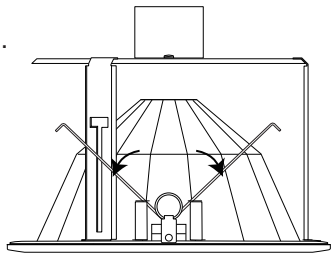


1m 以上

⚠ 警告	照射物 ・ 照射面との距離は１m以上離してください。 被照射物の火災 ・ 変色 ・ 退色の原因となります。

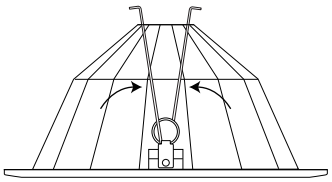
●Vバネの取付方法●

3.



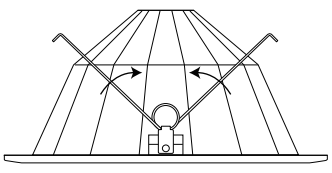
※Vバネを本体の金具で止める

2.



※図の様に縮め本体に挿入

1.

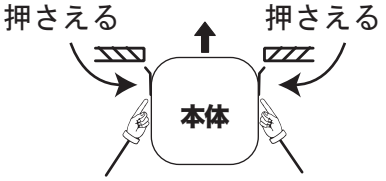


※Vバネを内側に縮める

●取付金具説明●

①上の位置へ

②本体を挿入



③仮止め状態

④取付金具を引き下げる

取付手順

1. 取付け前の確認・器具準備をする

●器具質量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。取付に不備があると器具落下の原因となります。

2. 天井に器具品番に適合する埋込穴をあける（埋込穴径別紙参照）

3. 電源線を確実に接続する。

●電子式安定器の場合　電源線、アース線を端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
（電源線むきしろ15±1㎜）

⚠ 警告	【D種（第3種）接地工事が必要】 接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

4. 安定器二次側（器具と安定器）の接続する

●器具側リード線（黒線・白線）と安定器ランプ側配線を接続する。
アース線を接地端子に確実に接続する。

⚠ 警告	【絶縁キャップの取付確認】 取付が不完全な場合、安定器故障・感電・火災の原因となります。

●安定器二次側端子台の差し込み穴にランプ側配線、アース線を端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む

●安定器とランプ間の距離は、パルスの減衰を考慮し２m以内としてください

●端子台の送り容量は２０Ａです。接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。

※接続が不完全な場合､感電･火災の原因となります。

5. 安定器を設置する

●安定器を天井内の平らな所に横転・逆転しないように設置してください。

※異常設置の場合､器具故障の原因となります

6. 本体を取付ける

①取付金具を本体上部にとどめ、内側に押さえながら天井に挿入する

②取付金具を引き下げて本体を固定する

【取付金具が障害物に接触していないこと､確実に固定されていることを確認する】

7. 前面リングの取付確認

●Vバネが確実に金具に固定されているか確認する。

※不備があると落下の原因となります｡すべりやすい手袋はご使用にならないでください

8. ランプを（別売）確実に取付ける

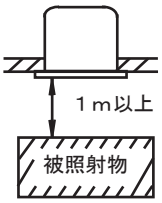
●ランプをソケットに最後まで確実に取ねじ込んでください。

※ランプを素手で触らないでください｡(短寿命･破損の原因となります)

●汚れ等がランプに移らない手袋を着用してください。

※ランプねじ込みが不十分な場合､ランプの落下･感電･故障の原因となります

使用上のご注意



●光の影響を受けやすい商品（毛皮・呉服・絵画等）には、使用しないでください。変色・退色の原因となります。
●ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
●同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
事前に確認し、対策を講じてください。
●点灯中のランプを消して、すぐに電源を入れてもランプが始動するまで約１０分かかります。
●器具の改造及び構成部品（ソケットなど）の交換をしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
●異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。火災・感電の原因となります。
●布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。
●器具と被照射面との距離は、１m以上離してください。被照射物の火災・変色の原因となります。
●アルカリ系の洗剤は使用しないでください。強度低下による破壊の原因となります。
●ランプ点灯中及び、消灯後しばらくは本体およびランプが高温になりますので触れないでください。やけどの原因となります。
●器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用してください。
指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。
●器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気の発生させる物は置かないでください。
火災の原因となります。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切り、器具が十分冷えてから行ってください。
やけど・感電の原因となります。
●ランプ交換の際には、取付手順に従って確実に行ってください。
不備がありますと、落下・感電・やけど・発火の原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。
ご使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。
また、設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日点灯時間10時間点灯、年間3000時間点灯です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・1年に1回は、社団法人日本器具工業会作成の「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下、感電、火災などに至る場合があります。

お手入れ・ランプ交換

⚠注意　必ず電源を切って行ってください。感電の原因になります。

＜器具の清掃について＞・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤でふかないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。
＜ランプ交換について＞・器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認の上行ってください。

ランプ交換時のご注意

・ランプソケットに最後まで確実にねじ込んでください。
ランプのねじ込みが不十分な場合、落下・故障の原因となります。
・指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

高温注意

・点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと。　やけどの原因となります。

保守・点検のために

お客様へ　ランプ交換など保守のために、下表内容をご確認の上、適切な保守用品をお求めください。
なお、安全のために保守作業は、できるだけ工事店にご依頼ください。

〈施工記録〉

器具品番		保守作業上の注記
取付年月日		
使用ランプ品番		
安定器品番		

■保証について

・保証について－この商品の保証期間は1年間です。但し、ランプ等の消耗品は除きます。
・保証書について－保証書が必要な場合は、弊社代理店または営業所へお申し出ください。

商品についてのご相談お問い合わせは、器具本体表示の品番、又は型名をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、
もしくは右記へご連絡ください。

株式会社アイゼット

本　社／〒399-4511
長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1
TEL:0265-71-8822（代）
FAX:0266-71-8800
■ホームページアドレス
http://www.iz-inc.co.jp/